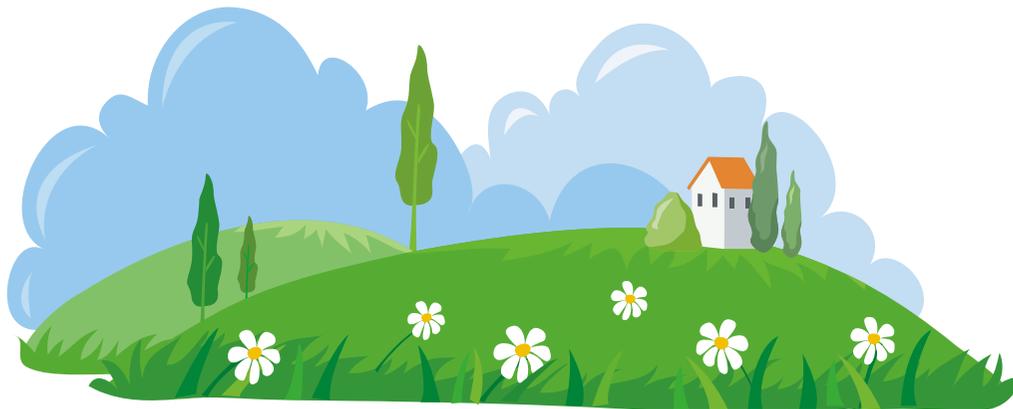


薬剤師外来 いきいき脳活性お薬教室

メモリーを正しく服薬 していただくために



目次



- 1. 認知症とは？**
- 2. 認知症ともの忘れのちがいは？**
- 3. アルツハイマー型認知症の症状**
- 4. アルツハイマー型認知症の経過**
- 5. アルツハイマー型認知症の治療**
 - ・メモリーってなに？
 - ・服用方法は？
 - ・飲み忘れた時は？
 - ・こんな症状がでてきたら？
 - ・症状がかわらないのでやめてもいい？
- 6. 暮らしのヒント**
- 7. 介護の心がけ**
- 8. 早期発見のためのチェック項目**

1. 認知症とは？



< 認知症の定義 >

いったん正常に発達した知的機能が
持続的に低下し、複数の認知障害が
あるために、**社会生活に支障をきたす
ようになった状態**

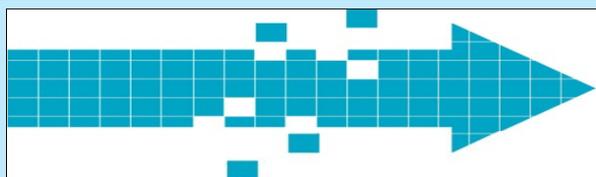
認知機能障害：知的な能力（記憶能力、思考判断力、言語機能など）の障害

認知症はれっきとした『病気』であり、恥ずかしいことではありません。
認知症を正しく理解することが大切です。

2. 加齢による“もの忘れ”、アルツハイマー型認知症の“もの忘れ”



加齢による“もの忘れ”



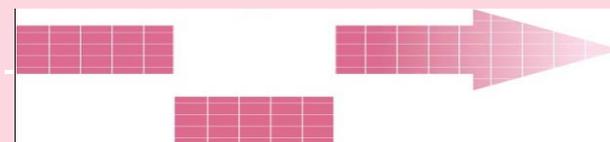
体験の一部を忘れる
(食事の内容を忘れることがある)

ヒントを与えられると思い出せる

〔人の名前が思い出せないことがある
→関連する事柄を示すと思い出せる〕

時間や場所などは正しく認識

アルツハイマー型認知症の “もの忘れ”



体験全体を忘れる
(食べたことを忘れる)

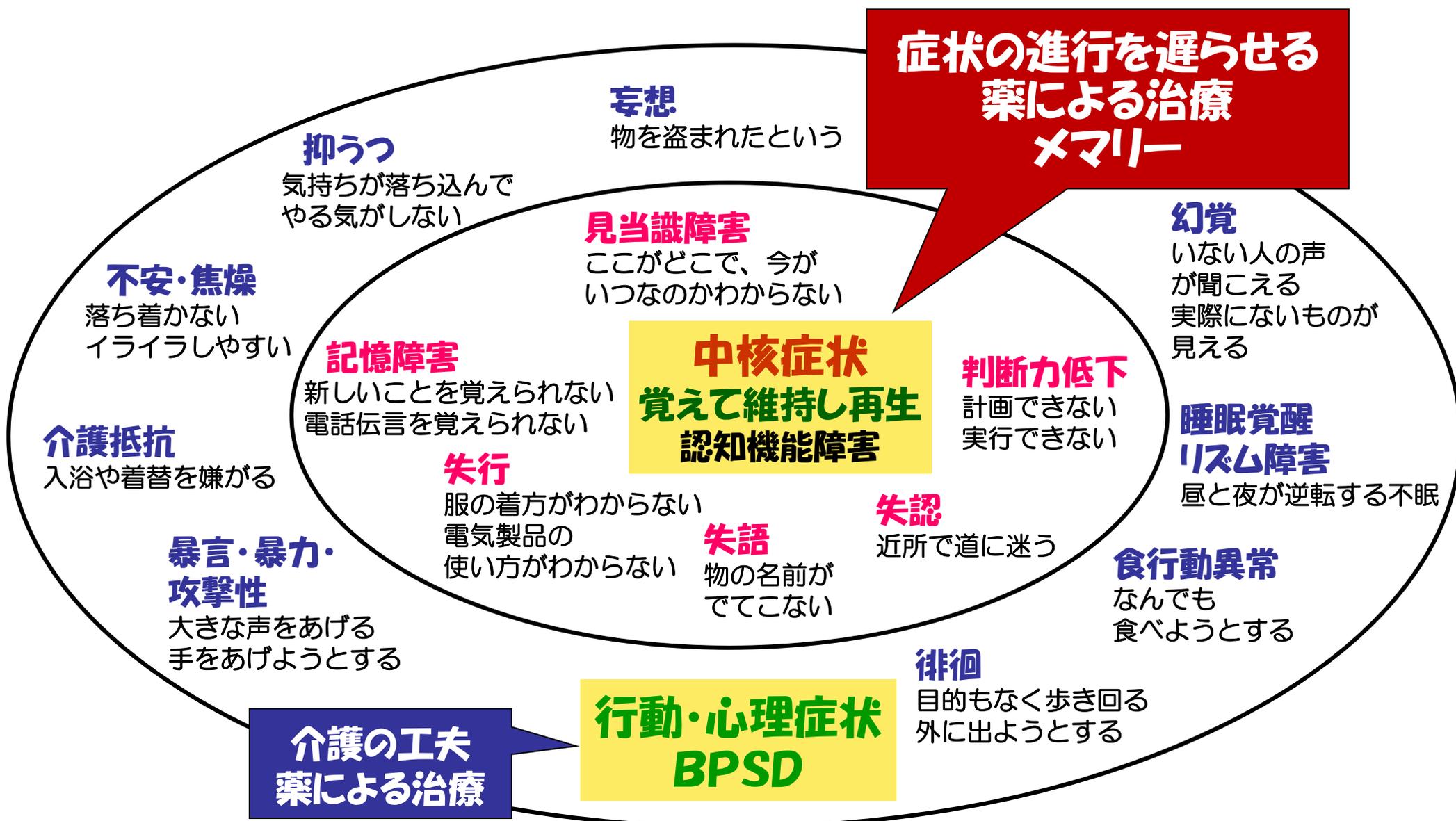
ヒントを与られても思い出せない

〔人の名前・顔が思い出せない
→写真など関連する事柄を
示してもその人を思い出せない〕

時間や場所などの認識が混乱

〔今日が何月何日で、自分が
どこにいるのかが分からなくなる〕

3. アルツハイマー型認知症の症状

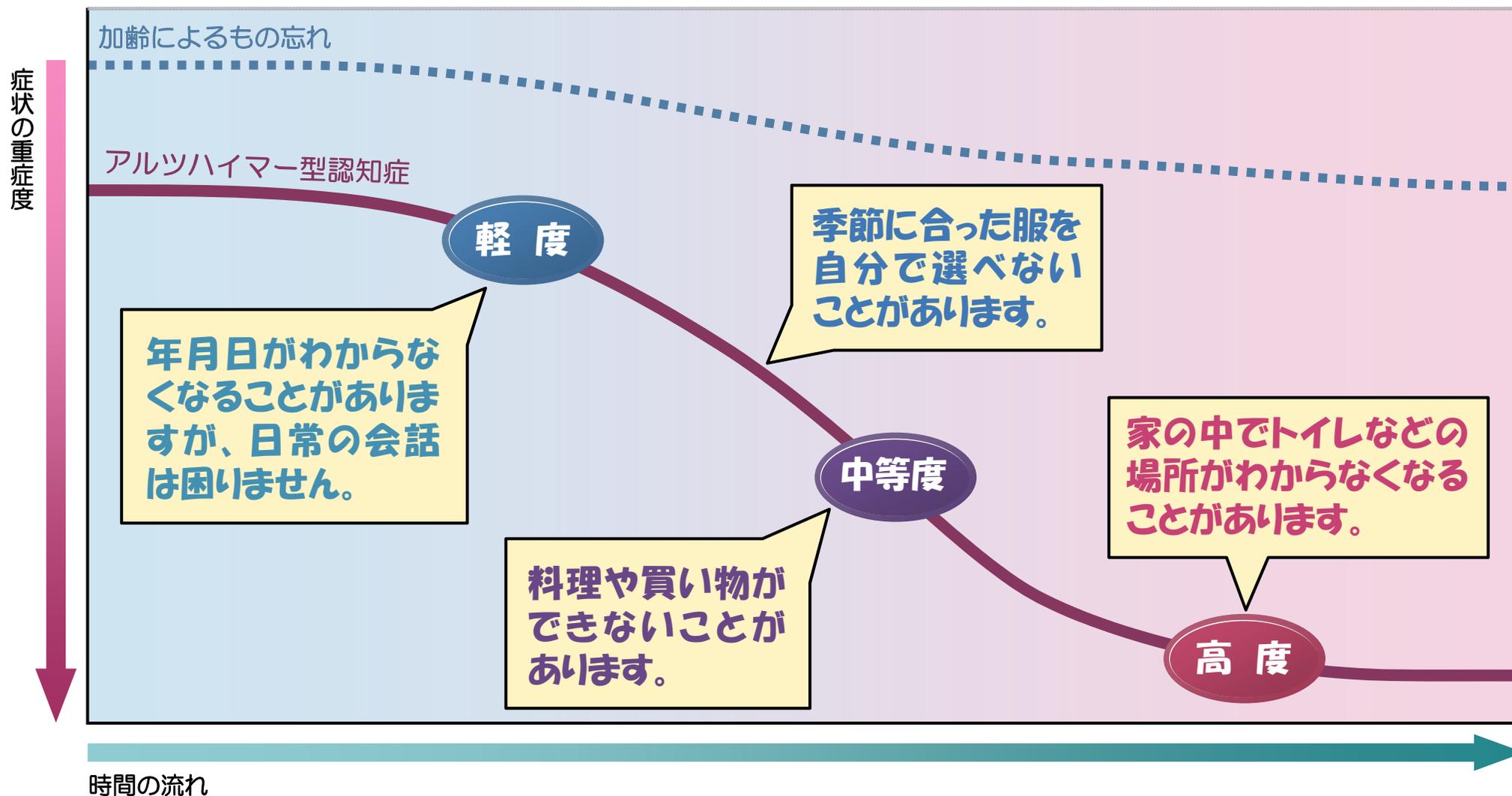


(BPSD : Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia)

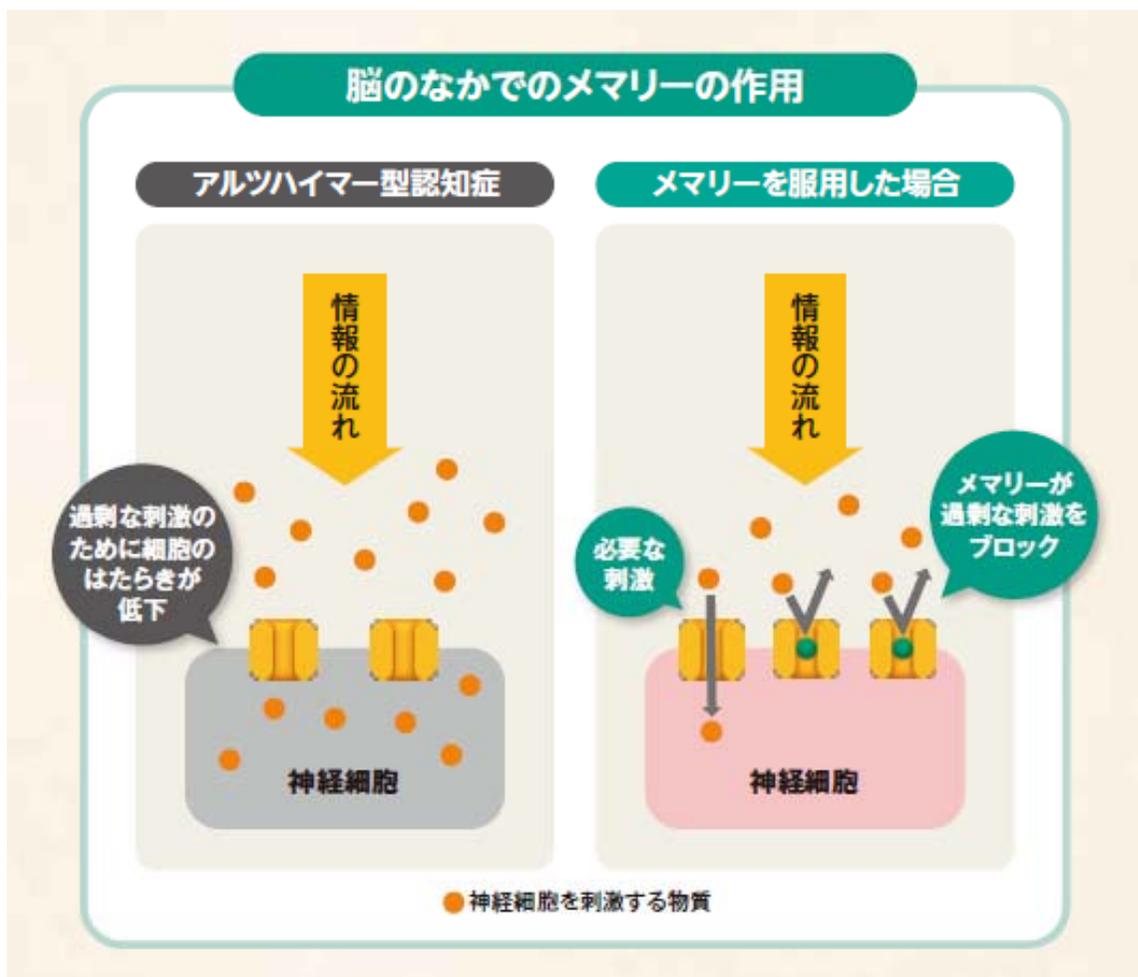
4. アルツハイマー型認知症の経過



アルツハイマー型認知症は、症状が徐々にすすんでいくのが特徴です。



5. アルツハイマー型認知症の治療（メモリーってなに？）



- **アルツハイマー型認知症では、脳の神経細胞が過剰な刺激を受け、記憶の情報伝達が悪くなったり、細胞の数が減ったりしていると考えられています。メモリーは神経細胞への過剰な刺激を妨げることにより、情報伝達をよくするとともに、細胞を守るはたらきがあります。**
- **アルツハイマー型認知症の症状の進行を抑えるお薬です。認知症そのものを治す効果はありません。**

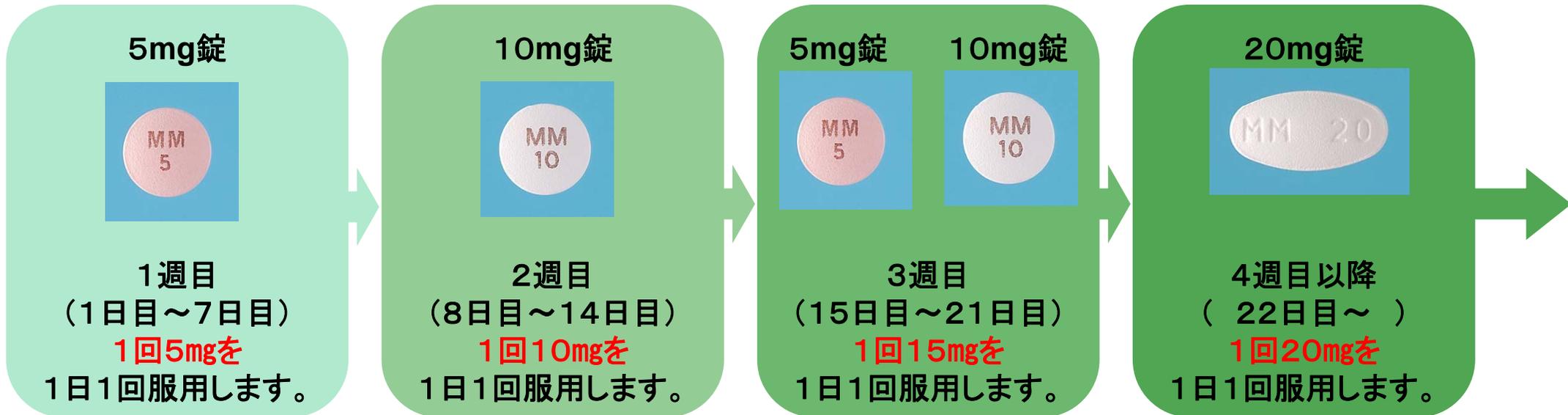
「メモリーノート メモリーを処方された患者さんご家族の方へ
(第一三共株式会社 MEM1P00601-OMD)」より転載

5. アルツハイマー型認知症の治療（服用法は？）



メマリー®の服用方法

メマリー®は1回5mg・1日1回から服用を開始し、1週間ごとに5mg、飲む量を増やしてゆきます。1回20mgまで増量したら、そのまま1回20mg・1日1回で飲み続けていきます。



- 1) お薬を体に慣らすために1回5mgから服用を始めます。
- 2) 飲み始めや、増量の際に、めまいや眠気がおこることがあります。症状が続くときは、対処法や服用中止の判断などについて主治医にまずご相談ください。
- 3) お薬の服用を途中でやめないよう注意してください。
- 4) 車の運転など、危険をともなう機械の操作は控えて下さい。

5. アルツハイマー型認知症の治療（飲み忘れたときは？）



飲み忘れても2日分を一度に飲まないで下さい

**1回分飲み忘れても比較的影響の少ない薬剤です。
次の日からきちんと1回分を飲むようにしてください。**

1回分飲み忘れても比較的影響の少ない薬剤です。

5. アルツハイマー型認知症の治療（こんな症状がでてきたら）



飲み始めの時、めまい、眠気などおこることがあります。

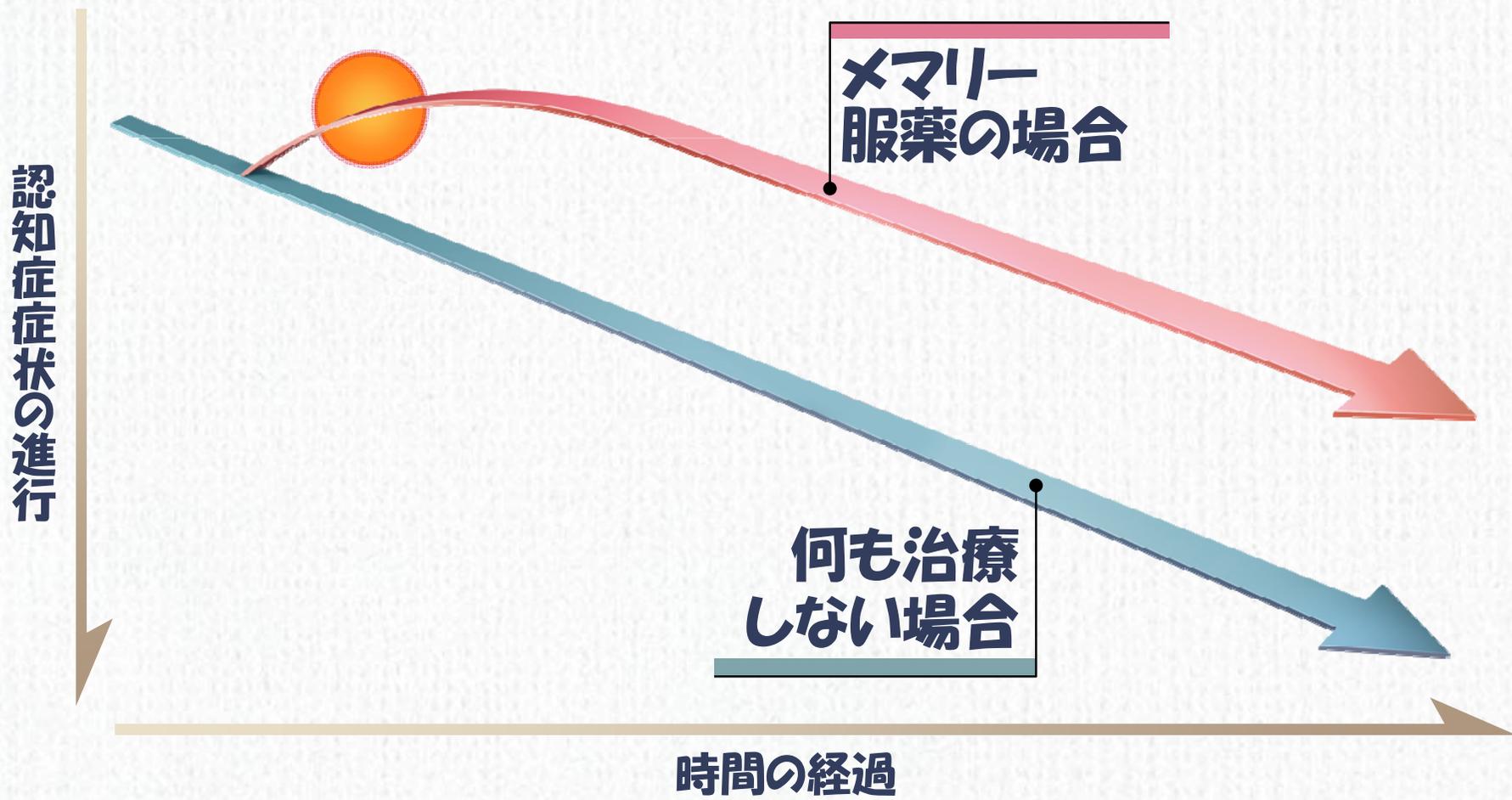
いらいらする、怒りっぽくなる、などの症状が起こることがあります。
気を失う、けいれんなどの報告があります。

特に服用開始の時期などに起こることがあるかもしれません。
転倒など起こさないよう、十分注意して下さい。

夜ねむれなくなったり、いつもと違う症状がでる場合には別の
お薬が追加されることもあります。

上記の症状の際には主治医・薬剤師に相談してください

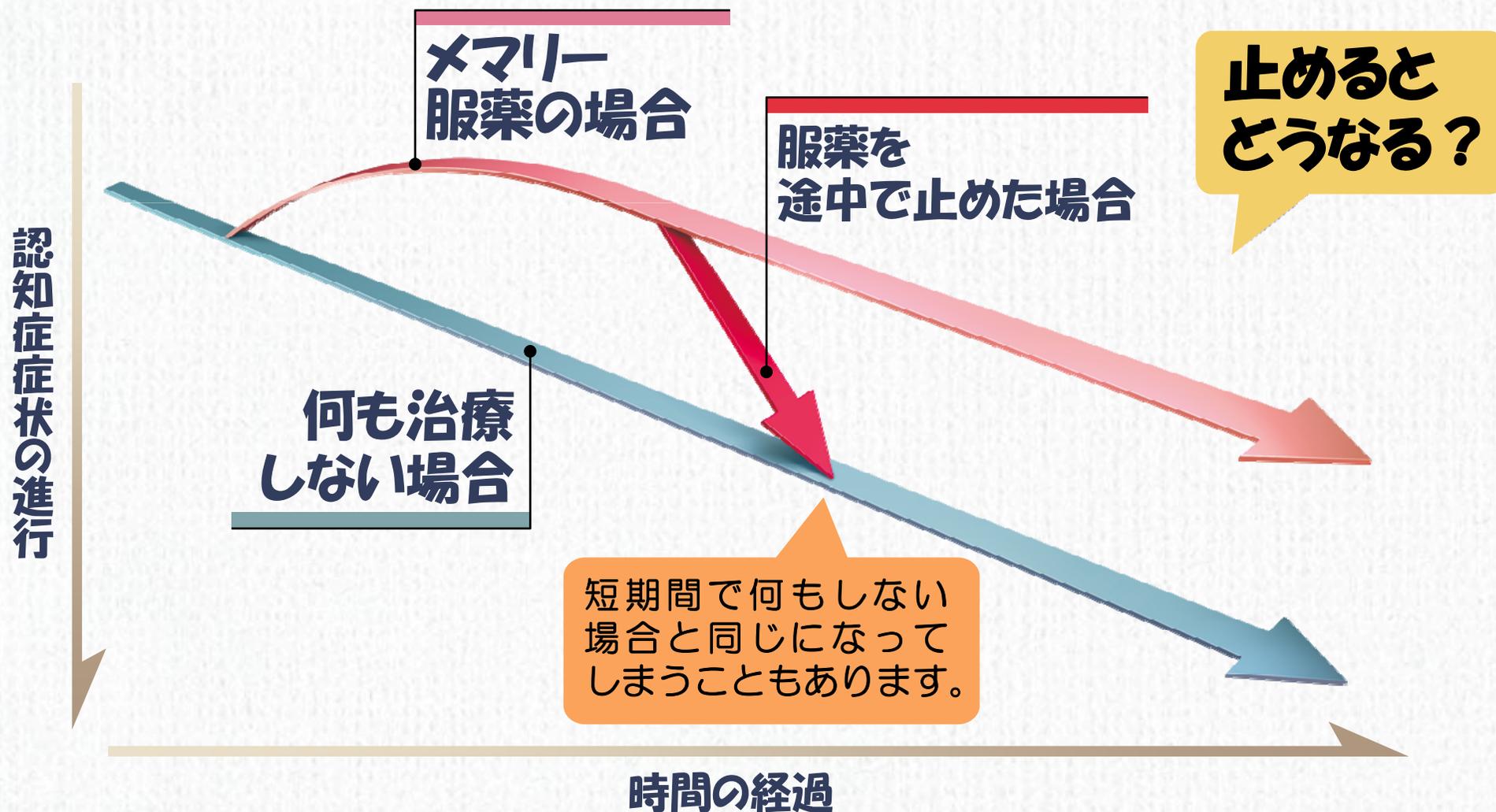
5. アルツハイマー型認知症の治療 (症状がかわらないのでやめてもいい?)



5. アルツハイマー型認知症の治療 (症状がかわらないのでやめてもいい?)



自己判断で勝手に中止しないでください



- 治療を中止すると何も治療しない場合と同じ状態まで症状が進んでしまうことがあります。

6. 暮らしのヒント



生活で気をつけることは？

認知症になりにくい生活

頭を使う趣味



読書・楽器の演奏
将棋・チェス



人と接する



仲間と料理

カラオケ



適度な運動

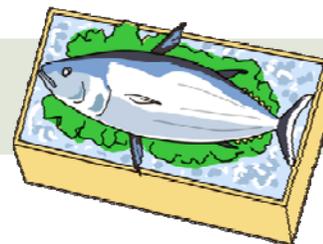
ウォーキング



野菜・果物・魚を食べる



VE



EPA

不飽和脂肪酸
オリーブオイル



7. 介護の心がけ



安心感が大切

ご本人の好きな音楽をかけたり、興味を持っているものを身近に置くなど、不安な気持ちを和らげましょう。一緒にお茶を飲んだり、話を聞いたりする時間を持つことで気分が落ち着き安心感が得られます。

否定しない

間違ったことを言っても、大きな支障がなければ否定してはいけません。否定的な言葉や態度は、ご本人が不安になるばかりでなく、介護者に不信感を抱く原因になります。

ペースを合わせる

介護にあせりは禁物です。せかさずゆっくり見守ることが大切です。

出来ることを、出来るだけ

ご本人の出来ることを見つけ手伝ってもらいましょう。小さなことでも役割をつくることで自信が付き気分が安定します。

8. 早期発見のためのチェック項目（お気づきですか認知症の危険信号）



□記憶があやふやになる(記憶障害)

- ・同じことを何回も言ったり聞いたりする、物の名前が出てこない
- ・人と会う約束や日時を忘れる、置いた場所を忘れる、人の靴を履いて帰る

□今までできたことができなくなる(実行機能障害)

- ・簡単な計算の間違ひが多くなる、いつも大きなお金で支払いをする
- ・蛇口やガス栓の締め忘れが多くなる、2つのことが一度にできない

□やる気がなくなる

- ・趣味に興味がなくなる、日課をしなくなる
- ・身だしなみに気をかけなくなる、季節の衣替えができない

□性格が変わる

- ・ささいなことで怒りっぽくなる
- ・以前よりも疑い深くなる

□時間や場所が不確かになる(見当識障害)

- ・慣れているところで道に迷う、いつも降りる駅で乗り過ごす
- ・今日の日付けがわからない、時間がわからない

